

## 南アフリカ準備銀行が政策金利を1%引き下げ

大和証券投資信託委託株式会社

南アフリカ準備銀行(中央銀行)は5月28日(現地)、政策金利であるレポ金利を8.5%から7.5%へ引き下げました。1%の利下げ幅は市場予想の多数派であり、サプライズはありませんでした。南ア中銀は昨年の12月に利下げに転じましたが、利下げは今回で5度目となります。

直後の声明文には「最近のインフレ率は想定を上回っているものの、需給ギャップの拡大が将来のインフレ低下をもたらす可能性を考慮し、利下げを決定したと記されました。

南ア中銀は金融政策としてインフレ目標を採用しており、現在の目標値は3~6%と定められています。対象となる消費者物価の上昇率(前年同月比)は、昨年8月に記録した13.7%をピークに今年1月の8.1%まで鈍化した後、8%台半ばの推移が続いています。いずれにせよ、目標値を上回って推移していますが、一方で実体経済の落ち込みは顕著で、2009年1-3月期の実質GDPは前期比年率 6.4%と2四半期連続のマイナス成長となるなど深刻な景気後退の様相を示しています。

有数の鉱物資源国でもある南アフリカの経済は世界の需要動向に大きく依存すると考えられます。IMF(国際通貨基金)は4月22日に公表した「世界経済見通し」で、世界の2009、2010年の実質GDP成長率がそれぞれ 1.3%、1.9%の低成長に留まると予測してはいますが、最近の世界経済には底打ち気運が高まっており、南アフリカの利下げも終盤に入っていると考えられます。

なお、新しい政策金利は5月29日から適用されます。次回の金融政策委員会は6月24日、25日に開催される予定です。

以上

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会